

議員特別研修実施報告書

報告議員名	播磨 博一	報告日	平成31年2月25日
調査研究・研修等 名称	地方議会研修会in北上市 「議会改革第2ステージを考える～東北からチーム議会を目指して～」		
実施日	平成31年2月7日 (木)		
会場	岩手県北上市 ブランニューキタカミ		
調査研究・研修等の 概要	<p>【基調講演】 基調講演で北川正恭早稲田大学名誉教授から、地方議会が「個の議員の集団」から「チーム議会」へ変わってきているという指摘があった。これには当然議会事務局も含まれ、岩手県においては市議会事務局研究会の存在が大きいというような話もあった。 次に各議会の事例報告があり、以下議会ごとに報告する。</p> <p>■岩手県北上市 議員定数と報酬については、議会機能が強化されるとともに議員活動も増加した経緯を踏まえ、議会自らが活動の評価を市民に示し、定数はそのまま報酬の引き上げに理解をもらった。 また、2年に1回は常任委員会ごとに政策提言を行っている。</p> <p>■愛知県犬山市 市民参加と議会機能の向上について報告された。市民が議場で市政全般について5分以内で提言を行い、それをもとに議員間討議につなげる。 また、委員会において上程議案ごとに議員間討議を行い、委員長報告には議会の意思を盛り込み、一人よりチームを前面に出して当局と渡り合う姿勢を示している。</p> <p>■岐阜県可児市 全国初の委員長質問を行っている。これもチームを表して、政策提言をしながら予算にも反映するようにしている。また、議会報告会は少人数で行い、例としてママさん会議の提言を市の施設に反映させたことの報告があり、市民目線を意識した議会の在り方が市民の理解を得るものとしていた。</p> <p>【議長セッション】 次に議長セッションがあり、挙げられたいくつかを意見を載せておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市長には要請やお願いでなく、提案、提言とする。 ●委員会、議会の意思をしっかりと伝える。 ●議長の立候補表明は本会議場で行う。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ●事務局の意見もよく聞く。 ●事務局とのパートナーシップを大切にする。 ●事務局が働きやすい環境作りに努める。
<p style="text-align: center;">調査研究・研修等の 成果と感想</p>	<p>所感として、この度の研修会のテーマにあるように、先進議会では議会改革第2ステージに入っているように感じた。</p> <p>横手市議会としても努力はしている方だと思うがまだまだの感はある。まずはできることからだと思うが、同時にスピード感も忘れてはならない。</p> <p>また、「チーム議会」として活動できるよう、市民、議会事務局とタッグを組んでいけるような環境作りも大切と感じた。</p>

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。